

Breathtaking 360 Degree Panoramic Tour of the Kanmon Straits

関門海峡360° パノラマ感動の旅



関門海峡は「源平壇ノ浦合戦」、「武蔵と小次郎の巖流島での決闘」「馬関戦争」など、歴史的にみてもたびたびスポットライトを浴びてきました。

最も狭いところで650mと極端に挟まった地形により潮の流れが速くかつ一日に何度も潮流が変わるため、古くから航海の難所とされてきましたが、日に600隻以上の船舶が就航している海上交通の要衝でもあります。

古くから港町としてその名を馳せていた「関門」。今では貴重な街並みや風情を残す地区として、門司港、下関ともそれぞれの歴史的資源をいかした街づくりにとり組んでいます。

また、2001年、北九州市と下関市は魅力ある関門海峡の景観を後世に伝えるために「関門景観条例」を制定し、この条例に基づいて「関門景観形成地区」を指定し、関門海峡の景観を守り、育て、創り、将来に継承していく取り組みを行っています。

このような門司港、下関の街づくりや関門海峡の県域を越えた景観形成について見ていただきます。なお、船上からの視察（クルージング・約1時間）も予定しています。（天候や参加人数によりコースや時間が変更になることがあります）

日時：11月12日（金）9:00～17:00

参加費：8,000円

定員：300名（事前申込み、申込み期限10月8日→オンライン参加登録申込み期限を10月20日に延長しました）

申込み方法：8th ISAIA オンライン参加登録申込みサイト（西鉄旅行）

URL <http://www.nishitetsutavel.jp/niccs/isasia2010/index.html>

集合場所：北九州国際会議場（予定、集合場所の詳細は申込者に後日ご案内します）

スケジュール：

- 9:00 北九州国際会議場出発、門司港レトロ地区までバス移動
- 9:30～16:00 門司港レトロ地区および下関・唐戸地区の視察（自由行動）
※関門海峡のクルージングを自由参加により開催（各コース約30分、3回運行予定）。
・門司港から下関コース（巖流島をまわります）
・下関から門司港コース（関門橋をくぐり周防灘を望みます）
※門司港～下関は、連絡船が20分間隔、所要時間5分で運行していますので自由に移動できます。
※門司港レトロ地区の各近代建築には、8th ISAIAスタッフによるガイドがつきます。
※門司港のまちづくりに関する説明会を自由参加により開催する予定です。
※門司港レトロ地区の各施設はパスポート制として、入館料なしで入場できる予定です。
- 16:30 門司港レトロ地区出発・バス移動
※時間前に帰る場合は、JR門司港駅から電車で小倉駅へ移動ください（各自負担）。
- 17:00 北九州国際会議場解散

視察場所：(1)門司港レトロ地区（自由見学）

- 近代建築群—旧大阪商船、旧門司税関、旧門司三井倶楽部、九州鉄道記念館、他
- 現代建築群—門司港ホテル、海峡ドラマシップ、レトロハイマート 他

（外部サイトリンク）

<http://www.en.mojiko.info/index.html>

<http://www.kcta.or.jp/>

(2)下関地区（自由見学）

- 下関唐戸地区の建築群—唐戸市場、海響館、旧英国領事館、旧秋田商会ビル、近代先人顕彰館 他

（外部サイトリンク）

http://www.city.shimonoseki.yamaguchi.jp/seisaku/kokusai/gaikoku/top_e.html

(3)船から見る関門海峡（クルージング）

